

土地の私有はいつ始まったか

User

一般人が土地を私有するようになった時期を教えてください。

Copilot

日本において土地の私有制度が形成されたのは、**明治時代から**です。

以下にその経緯を説明します。

明治初期から中期の近代的土地所有権の形成:

明治新政府は、欧米列強に対抗し、封建的な仕組みを改革して自由な経済活動を促進し、中央集権的な近代国家を形成しました。

田畑永代売買禁止令を解除し、土地の私有権を認める方針を採りました。

地券制度を導入し、土地の所有者を確定させました。

地租改正と地価の成立:

1873年に地租改正が行われ、全国の土地の徴税システムが改められました。地券制度により、土地の所有権を確定させ、地価を決定しました。

登記システムの登場:

1889年に地券制度が廃止され、登記による土地台帳制度が導入されました。現在まで続くシステムです。

このように、明治時代以降、土地の売買が自由に行えるようになり、土地所有権が一般人にも認められるようになりました。